

# 飯田善國

## 「オーケストラシリーズ」と「色で言葉を」展

2012年2月～2012年8月

IIDA-KAN 外観



### ごあいさつ

表情豊かな穂高の山並みのかたわら、豊かな自然とともに私たちは仕事を続けてまいりました。

そして、2000（平成12）年、創立30周年を迎えるに当り、次の世紀に向けてさらに創造性の高い精緻な仕事をめざすため、私たちは新たな出発点を求めました。

私たちのめざす最高の精度の追求、そのための技術を求めるとき、私たちは強い意志と豊かな感性が不可欠であると考えました。そうした強い意志や豊かな感性と出会う場所をつくりたい。こうした願いから生まれたのがこの建物「IIDA-KAN」です。この「IIDA-KAN」はその名前の示すように、飯田善國作品の常設館として建設致しました。

### 飯田善國（いいた・よしくに）

1923（大正12）年、栃木県足利郡生まれ。慶應義塾大学高等部から応召（学徒出陣）し中国大陸へ。戦後は慶應大学に復学し西脇順三郎に師事。卒業後の1948（昭和23）年、東京芸術大学入学、油絵科で梅原龍三郎に師事。卒業後は個展・グループ展などで作品を発表。1956（昭和31）年、野上彌生子との縁でローマに留学しファッツォーニのアトリエで初めて彫刻を学ぶ。後、ウィーンに移り1959年には抽象裸婦連作を描く。その後本格的に彫刻に転じウィーンやベルリンを拠点に活躍。1967（昭和42）年帰国。翌年の第一回神戸須磨離宮公園現代彫刻展で最高賞を受賞。木彫からブロンズ、ステンレスなどによる金属彫刻、さらに色彩と言語を独自のロジックで統合した「クロマトフィロロギア」による金属と着色ロープの作品など、独自の造形を見せる彫刻作品で内外にひろく知られるほか、版画やコラージュなどの平面作品、ステンレスによる野外モニュメントも多数。

2006（平成18）年没 [享年82歳]

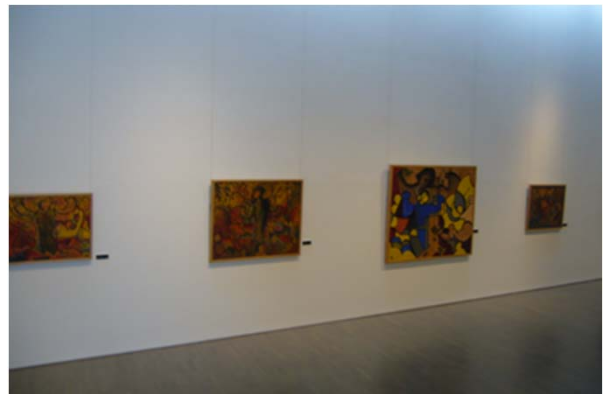
SCREEN-CANYON



IIDA-KAN 館内



## 「オーケストラシリーズ」



## 「色で言葉を」



IIDA-KANは原則として午前10時～午後4時まで、ご来館者に応じて開館します。展示は基本的に常設といたしますが、随時展示替えを予定しておりますので、展示内容につきましてもお問い合わせ下さい。

●JR大糸線穂高駅（一部特急停車）下車、「ハーモニックドライブ」を目的地に タクシーをご利用されることをおすすめします。（約15分）

●お車でのご来館の場合は、長野自動車道豊科インターより県道495号、25号 経由約20分。詳しくは弊社ウェブサイトの地図をご覧ください。

長野県安曇野市穂高牧1856-1  
〒399-8305 TEL 0263-83-6800（代）  
株式会社ハーモニック・ドライブ・システムズ穂高工場内  
<http://www.hds.co.jp>

この **I・K KAN** の性格はハーモニック・ドライブのモーションコントロールに於ける、より高次元の理想を確実に実現するための生産環境を備えた次世代工場のプロトタイプです。

建設目的は、歯車基礎技術開発の加速度的期間短縮と、新製品開発の期間短縮に置いております。

この建物は大きく4つのブロックから成ります。

- 1.高精度・恒温室
- 2.機器搬入待機室
- 3.環境制御機械室
- 4.見学及び談話室

館名の由来は、弊社のハーモニック・ドライブの技術的基礎を築いた「石川昌一・亀田博」のイニシャルから命名したものです。

# I・K KAN

# I・K KAN

**I・K KAN** の建築目的は、組み立てられたハーモニック・ドライブの角度伝達誤差を現在の実力の1/10（5秒以下）の実現と、精密加工・精密測定の可能性の試行、他社依存ノーハウの内製化などを意図としており、この環境を核にライン作業者の技能の向上と、その伝承を狙うものです。

**I・K KAN** の建築・環境仕様を以下に示します。

1, : 375㎡ (15m\*25m)

精密加工室 : 251㎡

精密測定室 : 49㎡

環境制御室 : 75㎡

2, 構造物高さ : 9m

3, 恒温環境仕様 (正圧雰囲気制御)

温度 : 床から3mで23℃

精密加工室 : ±0.5℃

精密測定室 : ±0.3℃

湿度 : 58%±5%

4, : 四層構造

一層 : 表面塗装

二層 : コンクリート1m厚

三層 : アルミニウム板 (防湿目的)

防錆ビニールコート付き